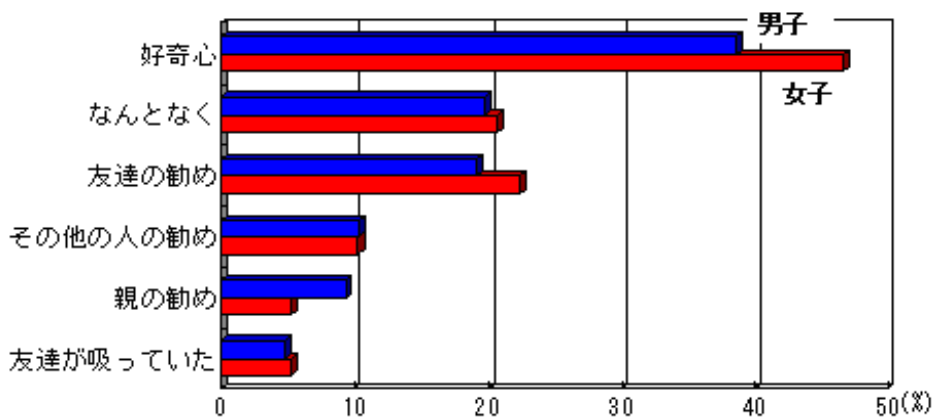


週刊 タバコの正体

タバコ吸うのはカッコ悪いのに、お金も時間も健康も無駄遣いをしているだけで、全く百害あって一利なしです。さらに、法律で禁止されている君たち高校生の喫煙は、見つければ謹慎などの指導を受けて学業や学校生活に大きな不利益をこうむります。それなのに、タバコを吸い始めニコチン依存症になってしまう中高生は、なかなかなくなりません。

はじめて喫煙した動機



はじめて喫煙した動機ははっきりしません
「好奇心」、「なんとなく」が最も多い

厚生労働省編、喫煙開始に関わる要因：喫煙と健康 295.1992

左のグラフを見て下さい。どうしてタバコを吸い始めてしまうのかを調査した結果です。その動機は、はっきりしないようですが、「好奇心」や「なんとなく」が多いようです。

「タバコなんて百害あって一利なし」だと知っていれば、タバコに好奇心が湧くでしょうか。皆さんはどう思いますか。

知っていて、あえてタバコを吸い始めてしまうほど、タバコに魅力はあるのでしょうか。「なんとなく」タバコを吸い始めたためにニコチン依存症になってしまうと、学校生活をしている間は見つからないように隠れ続けなければならないうえに、発見されれば多大な不利益をこうむるリスクを背負い続けなければいけないのです。

そして、そのまま大人になっても喫煙するためには、遠く離れた喫煙所までタバコを吸いに行かなければならない面倒くさい毎日が待っているだけです。

ただ「なんとなく」好奇心から吸い始めた、たった一本のタバコが毎日の生活を、とても窮屈で不便なものにしてしまうのです。うかつに「なんとなく」タバコに手をだした代償は大きくなる事を、心の隅に置いて忘れないで下さい。

産業デザイン科 奥田 恭久